8月11日（火曜日）「イエス（3）成長」

【新改訳 2017】

ルカ　2•39－52

「幼子は成長し、強くなり、知恵に満ちて行った。神の恵みがその上にあった。」（40節）

「イエスはますます知恵が進み、背たけも大きくなり、神と人とに愛された。」（52 節）

人の子として生まれたイエスの成長の様子を要約した聖句です。これら 2 つの聖句の間には、約十年余りの年月が流れています。

この箇所の 42-51 節には、イエスが 12 歳の時、神殿へ巡礼の旅をした時の出来事が記されています。イエスは、宮の中で教師たちの話の中に入っていましたが、その知恵と答えに人々は驚いたほどでした。特に、神殿をご自分の父の家であると言っておられることは注目に値します。12 歳にして、ご自分を父なる神の子と認識しておられたわけです。

さらに次のことを教えられます。子どもの成長は神の恵みによることと、目標は、主のように神と人とに愛される人間にな

ることに置くべきだということです。

～祈り～

父なる神さま。この混乱の世にある子どもたちに、あなたの恵みを豊かに与えて、心身の健やかな成長を得させてください。また、あなたと人々から愛される者になりますように。

【学びのために】

ある保育園では、この聖句を標語として掲げ、祈りのうちに保育がなされています。